

2026年5月24日(日)

日本基督教団 大宮教会
大宮教会ビジョン
「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」
- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -
(マタイによる福音書 28 : 19~20)

聖霊降臨節第1主日

ペンテコステ礼拝

<p>朝第1礼拝 9:00~10:10 朝第2礼拝 10:30~12:00 〈神の招き〉 前 奏 ① 来ませ聖霊、主なる神 ヴェックマン ② 来ませ創り主、聖霊なる神よ バッハ 招きの詞 使徒言行録2:1~4 交読詩編 122:1~9 讃美歌 12 〈神の言葉〉 聖 書 詩編23:1~6 (旧約 聖書協会共同訳 839頁) ローマの信徒への手紙8:1~11 (新約 聖書協会共同訳 278頁) 祈 禱 讃 美 歌 346 説 教 「霊による命」 熊江秀一牧師 祈 禱 想 讃 美 歌 343 聖 餐 讃 美 歌 81 〈神への応答〉 信 仰 告 白 日本基督教団信仰告白 献 金 主 の 祈 り 宣 教 報 告② 頌 栄 24 派 遣 と 祝 福 後 奏 ① 来ませ、創造者なる聖霊よ バッハ ② 来ませ聖霊、主なる神 アームストドレフ 宣 教 報 告①</p>	<p>夕 礼 拝 18:00~19:10 〈神の招き〉 前 奏 来ませ聖霊、主なる神 テレマン 招きの詞 使徒言行録2:1~4 交読詩編 122:1~9 讃美歌 348 〈神の言葉〉 聖 書 イザヤ書42:5~9 (旧約 聖書協会共同訳 1112頁) ヨハネによる福音書14:25~31 (新約 聖書協会共同訳 193頁) 祈 禱 讃 美 歌 196 説 教 「揺らぐことのない平安」 佐藤潤伝道師 祈 禱 想 讃 美 歌 463 聖 餐 讃 美 歌 81 〈神への応答〉 信 仰 告 白 日本基督教団信仰告白 献 金 主 の 祈 り 宣 教 報 告 頌 栄 26 派 遣 と 祝 福 後 奏 来ませ聖霊、主なる神 パッヘルベル</p>
---	--

次週の礼拝(5月31日)三位一体主日

<p>① 9:00、② 10:30 説教「互いに赦し合う」 佐藤潤伝道師 イザヤ書63:7~10、 エフェソの信徒への手紙4:25~32 交読詩編97:1~12 讃美歌351、341、523、26</p>	<p>サテライトチャーチ植竹礼拝・夕礼拝 10:30、☒ 18:00 説教「羊の囲いのたとえ」熊江秀一牧師 詩編23:1~6、 ヨハネによる福音書10:1~6 交読詩編97:1~12 讃美歌4、50、120、24</p>
--	--

ワーシップ(賛美礼拝) 14:00~15:00

説教「神の国と神の義を求めなさい」熊江秀一牧師 マタイによる福音書6:31~34 [司式]西八條長老
賛美: 栄光から栄光へと、シャーイン・ジーザス・シャイン、花も、Still 静まって知れ、神の国と神の義、主の祈り、主の前にひざまずき、イエスが愛したように

■今週の祈禱課題■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3. 聖霊の恵みに感謝して
4. 関連幼稚園（大宮・植竹・白百合）の為に
5. 76回関東教区総会の為に
6. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、イラン、世界の平和の為に
7. 病気の兄妹の為に

*関東教区お祈りカレンダー 東新潟教会 新潟愛泉伝道所 新潟信濃町教会

◇先週の説教より「神の栄光を見る」ヨハネによる福音書11章38～44節、エゼキエル書37章11～13節 熊江秀一牧師

永眠者記念礼拝にラザロのよみがえりの箇所が与えられた。「私は復活であり、命である。私を信じる者は死んでも生きる」と宣言した主イエスは、兄弟の死に悲しむマルタとマリアの姿に、共に涙を流した。そして死の力に対して憤り、ラザロの墓へと行った。洞穴を利用した墓は大きな石で蓋をされていた。この石とは生の世界と死を分ける隔てであった。その墓に来て主イエスは「その石を取りのけなさい」と命じる。しかしマルタは「主よ、もう臭います。四日もたっていますから」と反発する。マルタはその直前に、主イエスが復活と命の神であると告白した。しかし愛する者の墓を前にして信仰が揺らいでしまった。そんなマルタに主イエスは「もし信じるならば、神の栄光を見ると言ったではないか」と励ます。神の栄光、それは死に打ち勝つ栄光、命が輝く栄光である。主イエスは死の現実の前に信仰が揺らぐ私たちのために、神に執り成しの祈りをささげ、

大声で叫ぶ。「ラザロ、出て来なさい」。この時、私たちにどうすることもできなかった死の力が打ち砕かれ、命の光が輝いた。すると「死んでいた人」ラザロが、今、生きている人として「出て来た」。この出来事はエゼキエル書の「私の民よ、私はあなたがたの墓を開き、あなたがたを墓から引き上げる。その時、あなたがたは私が主であることを知るようになる」の実現である。ラザロのよみがえりを通して、もはや死が私たちを支配するのではなく、復活と命の神である主イエスが私たちを統べ治めて下さることを知ることになった。先達たちはこの信仰に生きた。今日、私たちも死が私たちを支配するのではなく、命の神である主イエスが共におられることを心に刻み、主の命の道を歩もう。

礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままどうぞ。○は祈禱当番の方。*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、夕は夕礼拝。